

答えて市長！一般質問

前ページから続き

子供達の夢に吉川市長に
なりたいたいという選択肢を

稲葉 剛治

問 将来を担う子供達の政治への興味や投票参加の意識向上を図る為の取り組みについて。

答 教育部長 小・中学校の授業や中学校の生徒会役員選挙を通じて選挙、政治を学ぶ機会としている。

問 自分の投じる一票の意味や大切さを実感出来る取り組みである「デザート選挙」についての見解は。

答 教育部長 現在は取り組んでいない。投票への参加向上の取り組みの一つとして、こうした学習の機会もあろうかと思う。学校や児童生徒の実態を通して学ぶ機会を工夫していきたいと考えている。

◆自らの命は自ら守る、「自助」
に関する取り組みについて

問 自主参加型の防災訓練シエイクアウト訓練について

答 市民生活部長 シエイクアウト訓練は、姿勢を低くし、頭や体を守って、揺れが収まるまで動かないという自分の身を守る行動を訓練する内容で、身の守り方を体得する事の出来る効果的な訓練であり、また、市民の防災意識が高揚する訓練であるという認識のもと、10月に三輪

野江小学校で開催する総合防災訓練の際に、三輪野江地区に住まいの市民の方を対象とした訓練を実施する予定。

新庁舎への交通網の整備を
住民参加で

遠藤 義法

問 住民が元気に外出でき、社会参加できる環境づくりにバスなど交通網の整備が必要で

旭、三輪野江、駅南などから新庁舎予定地のきよみ野へ通じる路線網の整備などを市民・利用者、バス・タクシー事業者、市が話し合える場所を設置し、検討、実施してゆくべきである。

答 市長 今後も路線バス会社に要望して、交通網の整備・充実を図っていく。市民の意向は市民意識調査などで要望や利用実態を捉えるので、現時点で協議会設置の考えはない。



◆水道水フロリデーションは中
止を

問 市は、水道水フロリデーションの啓発活動を続けています。これらの動きに対し市民は反対の声や不安な声をあげています。

①推進・啓発活動は期限を切つて中止の判断をすべきである。②フッ化物利用と全世界帯、市民全員が利用する水道水にフッ化物を添加するフロリデーションは違う。見解は。

答 市長 法律や条例で口腔保健が制定、フッ化物応用が位置づけられている。その手法であるフロリデーションについて正しい情報提供、啓発活動をすすめており、中止することは適当ではない。

高齢者肺炎球菌ワクチン
予防接種に市の助成を

小林 昭子

問 インフルエンザの季節を迎える。県内45市町村、7割以上が高齢者の肺炎を防ごうと接種助成している。市の助成を。

答 市長 国の予防接種部会での議論の動向を注視していく。

◆資材置き場設置条例にむけて

問 有効な「規制」とは。他市例などと、今後の市の考え方は。

答 市民生活部長 市民からの振動、粉塵等の相談に指導をして

いるが、予防の義務付けが無い為問題解決が困難。東京等では防止措置が義務付けされている。効果的方法を調査研究していく。

◆介護保険―要支援1・2問題

問 国は要支援の方の介護保険はずしを閣議決定した。影響は大きい。市の見解は。

答 健康福祉部長 全国一律の基準でされていたサービスが市町村の判断で、単価や人員設定が出来る様になるかと考える。

◆深井新田地内古川水路改修を

答 都市建設部長 9月補正で道路との交差部分改修の測量設計費を計上。今後地元の意向を尊重しながら整備していく。

◆吉川美南駅への市道の整備を

問 美南駅東口から大場川沿の市道は狭くて危ない。改善を。

答 都市建設部長 本格的改修は困難。随時対応する。

第四中学校建設を急げ

佐藤 清治

問 駅南開発と操車場跡地が進む中、建設の見通しは。

答 教育長 武蔵野操車場の開発が見込まれることから、慎重に見極め生徒数の把握に努めてまいりたい。

問 建設の目標年次を伺いたい。

答 教育部長 今のところ平成30年か31年と考えております。

◆駅南バス路線の道路整備は

問 第一土地区画整理地内の道路は傷みも進んでいる。振動への対策を求める声も寄せられている。具体策について伺います。

答 都市建設部長 水道管の布設替えの本復旧と同時に実施していきたい。

◆税と社会保障の一体改革につ
いての見解は

問 国民の暮らしの実態を無視して消費税増税と社会保障改悪を行うことはどうして許されることではないと考えます。

もし、実施された場合の市民への影響と対策は。また、市長の見解について伺います。

答 市長 社会保障制度は全ての国民が安心して暮らすことのできるための基盤となるものと考えております。

増税にともなう国民生活への影響を十分配慮した制度設計がなされることを期待しております。

現吉川市庁舎は解体後売却
せず市民サービス施設へ

齋藤 詔治

問 現庁舎は新庁舎へ移転後取り壊し、跡地の売却が予定されている。庁舎の耐震補強・大規模改修を行い、平素は市民活動施設、災害時には避難場所を活用。

答 総務部長 新庁舎建設の財源確保の観点から新庁舎基本構想において保健センターは残し、

その利用者駐車場を確保し、基本的には売却を致します。

問 新設給食センター1ヶ所に集約する、1センター方式を改め、安心安全給食へ、第2給食センターを改修、災害時のリスクを考慮、2センター方式に。

答 教育長 第2給食センターは、昭和59年に建設され、建物・調理設備の老朽化により、大規模改修が必要です。1センター方式を進めて行きます。

問 1日も早い仮通学路の整備を、吉川派出所前交差点より、吉川小学校入口交差点まで。

答 都市建設部長 吉川橋の架け替えによる用地買収が進められており、通学路の整備につきましては、連続して用地確保が得られた箇所から安全確保が図られるよう県に要望して参ります。



道幅が狭く、交通量も多い通学路

問 吉川市地域防災計画の検討を、8月30日から気象庁により特別警報が運用、市の対応は。

答 市長 特別警報が発令された場合さまざまな広報手段で市民へ周知し、併せて、避難勧告発令や避難場所の確保処置を行います。